

好評につき増刷いたしました！(2014.3)

ちょっと聞いてください

えびそーど
京都とキリスト教の歴史物語

司祭 ダニエル 大塚 勝 著



A5 版 300 頁

◆ブックレビュー：本書のご紹介◆

本書は、大塚司祭が聖アグネス教会の牧師時代、「週報」に連載されていたコラムを、ご本人の加筆修正により1冊の読み物に編纂されたもので、タイトルのとおり、京都とキリスト教にまつわる歴史エピソード集です。大塚司祭は、聖アグネス教会で2年間のお働きの後、2009年3月に定年退職を迎えられましたが、信徒からの熱烈な要望を受けて、このコラムは引続き連載されました。何度かの充電休みをはさんで約4年間で連載は延べ196回を数えました。

菅原道真、織田信長をはじめ京都にまつわる歴史上の人物はもちろん、京の大火・地震・飢饉などの災害、西陣織などの織物産業の発祥と趨勢、歌舞伎芸能の起源、そして日本に伝道されたキリスト教等々について、幅広い知見から溢れるように逸話が繰り出されます。短編の読み切りですから、サブタイトル「ちょっと聞いてください」という語りかけのとおりに、どこからでも読み進められます。京都とキリスト教、とても身近な存在なのに、まだまだ私たちの知らない歴史の裏舞台があり、斬新な切り口で紐解く「大塚節」に好奇心がくすぐられます。

(文：聖アグネス教会信徒 T. S)

◆聖アグネス教会の礼拝堂内壁補修工事のための献金のお願い◆

聖アグネス教会は創立90周年を迎えましたが、聖堂は1898年(明治31年)の竣工で、築後115年となります。明治時代の英国風ゴシック様式煉瓦造り教会として歴史的にも貴重な建築物で、1980年(昭和60年)には京都市指定有形文化財にも指定されています。

近年、内壁のひび割れや剥離などの劣化が目立つようになり、調査の結果、特に礼拝堂西壁・洗礼室・礼拝準備室は「剥落が危惧される状況」と診断されました。そこで、京都市の財政支援を得て、聖アグネス教会、日本聖公会京都教区、平安女学院の三者共同で、2014年度より2ヶ年で大規模な内壁補修工事を計画しております。

本書『ちょっと聞いてください...』は、教会90周年記念にあわせて出版の企画準備がすすめられてきましたが、本書の収益金は全て、この内壁補修工事のための献金とさせていただきます。是非、多くの方々に本書を介して、献金にご協力いただければ幸いです。

(聖アグネス教会 教会委員会)

◆著者略歴◆



大塚 勝 (おおつか・まさる)

1938年京都市生まれ。
同志社大学文学部卒(日本文化史専攻)
平安女学院中高教諭(日本史)、校長
を歴任後、日本聖公会の聖職に按手。
ウィリアムス神学館主事、京都聖マリア
教会主日勤務、京都聖ヨハネ教会牧
師、聖アグネス教会牧師を勤める。
現在、日本聖公会司祭(京都教区退職)、
ウィリアムス神学館主事・教授(日本キ
リスト教史)。日本聖公会京都教区資料
室嘱託。

◆ご入手の方法◆

下記担当まで必要部数を電話またはメールで申込み下さい。受渡し方法は適宜に対応させていただきます。ただし、送付をご希望の方には送料のご負担をお願い致します。

<聖アグネス教会 教会委員会>

京都市上京区烏丸下立売角

担当：執事 鈴木恵一

tel: 075-432-3015

mail: kyoto.st.agnes@gmail.com

1冊につき献金額 1,000円